

「出会い」について 思うこと、考えたこと

2021年度大谷大学公開講演会

高井康弘



1. 近頃思うこと

2. 「出会い」とは？



2. 「出会い」という言葉が含むニュアンス (その1)

想定外・予期せぬ出来事というニュアンス

人は多かれ少なかれ、次の展開・周囲の反応について、意識的また無意識的に予測／期待して、行為している。

予測する存在ゆえに、予測を超える出来事に驚く。



2. 「出会い」という言葉が含むニュアンス (その2)

予測外れの経験を肯定的に振り返る
ニュアンス



予測／期待の背景にあるもの

自身に内面化した「文化」～ 世界観／自己観

「文化」 心身の動かし方・それらへの意味のこめ方・意味の読み取り方の集合体のようなもの

「出会い」の経験とは？
自身の世界観／自己観が揺らぎ、
リニューアルされる機会

3. 学校教育と「出会い」

一筋縄ではない両者の関係

学校は、「官僚制（ビューロクラシー）」
が貫徹した組織の代表格



「官僚制」とは？

19世紀末の思想家・社会学者マックス・ヴェーバーいわく
その原則とは？ たとえば・・・

文書化された規則・法にのっとり、
合法的に判断し、行動すること

規定された職階や地位で定まっている権限や義務の範囲で、相手とかかわり、行動すること

個人的感情を排して、冷静沈着に、
非人格的な法に照らして、判断・行動
公私の峻別

行政組織・病院・軍隊・工場など
個人の顔が見えない大人数の組織を、計画的・効率的に動かすには、官僚制は適しているといわれる。

規則から外れた行動：えこひいき・ハラスメント・業務以外の個人的命令は、そもそも「官僚制」からの逸脱

× 情緒性・恣意性・思いつき・公私混同

良い意味でも、悪い意味でも
人間くささ、個人性、個人の人格的全体性は抑圧される。

学校で官僚制が徹底し、時間割どおりに、定まった場所で、決められた課業を、生徒・学生がこなし、先生は規則で定まった教師という立場を徹底して離れず、定まった教育内容を教授する。そこに「出会い」は生じるのか？

学校での「出会い」

私自身が覚えていること
正課授業から逸脱した出来事、
正課授業外での出来事

教育目的として、計画的に「出会い」の場を
セッティングできるのか？



4. 自身の研究の試行錯誤 と「出会い」

東洋史→地域ボランティア→社会学
→人類学→タイ農村調査





1980年の中部タイ農村



タイ農村での滞在
「人間」にふれた？ 人間的経験の実感



なぜ、そんなことを感じたのか？
どんな質の経験だったのか？

人類学者ヴィクター・ターナー
通過儀礼に関する考察



V.W.ターナー著（富倉光雄訳）
1996年『儀礼の過程』新思索社

結婚や死など
当事者の社会的ステージが移行する際
におこなわれる儀礼 「通過儀礼」

未婚者→既婚者 (社会的存在としての) 生者→死者

当事者だけでなく、当事者と社会関係をもつ
すべての人の社会的ステージも変化する契機

通過儀礼では、当事者
(当事者にかかわるすべての人) が、

旧ステージからの分離→
境界 (リミナリティ) 状況→
新ステージへの再統合

を象徴的に経験して、(社会的に) 生まれ変わる。

ターナー (1996 : 129頁) によれば、

境界状況で起こる現象：謙虚さと神聖性の交じり合い
均質性と仲間意識の交じり合い

境界状況における従来の社会秩序・構造から
解放された人々同士の関係の様式を、
ラテン語の「コミュニタス」という言葉で呼ぶ。

5. フィールド調査と「出会い」

調査計画：テーマ設定→目的設定→データ収集計画
事実に関する一連の問い
事実と事実の関係に関する一連の問い
予想／仮説を立てて、データを集めて、検証

実際に調査で経験すること
人、モノ、風景との出会い

調査につきもののアクシデント
寄り道的経験



東北タイのウシ・スイギュウ定期市



ラオス北部の中国国境
調査村に至る道



調査地やそこで暮らす人々、彼らと自分との関係をイメージするときに、貴重な活性炭のような役割を果たす

さまざまな情報や知識の積み重ねだけでは、テーマの全体像やイメージを想像し、着想を得ることは難しい

6. まとめ

「出会い」とは

- ①自身のあらかじめの予測や期待を外れた、あるいは超えた経験
- ②現時点の自分が振り返って、そこになんらかの大切な意味を見いだす経験

6. まとめ

→なぜ大切と思うか？

その経験が自身の世界観／自己観の
リニューアルにかかわっているという実感から

官僚制組織たる学校

そこで、「出会い」を計画的に設定する
というのは、いわば自己矛盾的課題

でも、実際の学校生活では、
生徒／学生／教員は
正課授業外で多々「出会い」を経験している。

フィールド調査の面白み→
さまざまな計画外の出会いの経験

「出会い」で得たイメージが、
データをつなげて全体像を構築するにあたって、
重要な役割を担っている。



以上です。

最後までご視聴くださり、
ありがとうございました。
